



岩手医科大学・歯学部 オープンリサーチ・プロジェクト

Open Research Project 2007-2011
Advanced Oral Health Science Research Center
Iwate Medical University School of Dentistry

平成22年度第1回セミナー

樹状細胞と象牙芽細胞との密接な関連と 象牙質・歯髄免疫学

講師 新潟大学 大学院医歯学総合研究科
硬組織形態学分野 大島 勇人 先生

歯髄免疫に関する研究はここ数年のあいだに飛躍的に進歩したが、自然免疫に重要な役割を担う樹状細胞が象牙芽細胞の分化や恒常性維持と密接な関係をもつことは意外と知られていない。近年、免疫と骨代謝が密接に関連していることから、「骨免疫学 (Osteoimmunology=オステオimmunロジー)」が関節リウマチや骨粗鬆症、歯周病をはじめとする骨減少性疾患の病態を免疫系との関連から解明する新しい研究分野として注目を浴びている。本講演では、象牙質形成過程やその維持における樹状細胞と象牙芽細胞との関連、そして歯の切削や再植後の歯髄修復過程における樹状細胞と象牙芽細胞分化との関連から、象牙質・歯髄修復過程を免疫系と関連づけて解明する「象牙質・歯髄免疫学Dentin-pulp immunology=デンティンパルプimmunロジー」と呼べるべき新しい概念を紹介したい。

2010 5/14 (Fri)
PM4:30~5:30

岩手医科大学 歯学部 3階 第2示説室

連絡先 歯学部口腔組織学分野 原田英光
内線 4536